



国際ロータリー第2820地区 2025-2026年度

会長エレクト研修セミナー

国際ロータリー 2025 -2026 年度

会長 マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

日時：2025年3月29日(土)・30日(日)

場所：ホテル日航つくば

ホスト：水海道ロータリークラブ

ガバナー 大高 司郎

ガバナーエレクト 瀬戸 隆海

地区ラーニングFT 大久保 博之

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2820

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2820

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2820

***UNITE
FOR
GOOD***





R.I. 会長メッセージ

2025-2026年度

国際ロータリー会長

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

(サント・アンドレ・ロータリークラブ: ブラジル)

敬愛なるガバナーとロータリーリーダーである皆さま、おはようございます。

昨年はこちらに、2024-25年度ガバナーにお集まりいただきました。その際、私は国際ロータリーの会長ノミニーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トーマジ・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

68歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。



この18カ月間で地球を6周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがよくあります。

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第9141地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

インドネシアのランブンで、デニースと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができます。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。



私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。

行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26年度の会長メッセージです:「よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。



会長エレクト研修セミナーによせて

2024-2025年度

国際ロータリー第2820地区

ガバナー **大高 司郎**(高萩RC)

本日は、「会長エレクト研修セミナー（PETS）」にご参加いただき、誠にありがとうございます。次年度のクラブ運営を担う皆様と、この学びの場を共有できることを大変うれしく思います。

「2025-26年度は、すでに始まっている」— 会長の任期は1年ですが、その成功は準備の早さにかかっています。年度のスタートは7月ですが、その時点で動き始めるのでは遅く、7月には力強くスタートダッシュを切ることが求められます。そのためには、会長としてのビジョンを明確にし、年度が始まる前に準備を整えることが不可欠です。

具体的には、就任前から理事会を招集し、次年度の役員・委員と活動の方向性を決めることが大切です。クラブの方針が固まったら、幹事とともに活動計画書を作成し、7月のスタートに備えましょう。この準備の有無が、1年間のクラブ運営のスムーズさを大きく左右します。

また、私たちのクラブはクラブ優秀賞（ロータリー賞）を連続受賞してきました。これは、クラブ全体が一丸となり、計画的に活動してきた証です。クラブ優秀賞への挑戦は、クラブの活性化につながる大きな要素です。明確な目標を持ち、計画的に活動を進めることで、会員の意欲向上にもつながります。

次年度の RI 会長メッセージは「よいことのために手を取りあおう」です。ロータリーの友情と奉仕の精神を大切にしながら、地域社会や世界と協力し、新たな価値を生み出していくことを意味しています。クラブの活動においても、このメッセージをどのように具体化していくかが重要です。

会長の役割は多岐にわたります。クラブの方向性を定め、会員の意欲を引き出し、奉仕活動の推進、会員増強、ロータリー財団への協力、公共イメージの向上など、課題は多くあります。計画を立て、クラブのリーダーシップチームと協力しながら、一つひとつ着実に実行することが大切です。



本日の研修では、こうした課題への具体的な知識やノウハウを学びます。また、他のクラブ会長エレクトと交流し、意見を交換することで、新たな視点やアイデアを得ることもできるでしょう。クラブ運営は一人で行うものではありません。ガバナーやガバナー補佐、地区のリーダー、クラブの役員・会員の皆様と共に歩むことが、成功の鍵です。

年度の変わり目は、新しい舞台の幕開けです。今はそのステージに向けた準備期間です。しっかりと準備を整え、自信をもって第一歩を踏み出しましょう。

最後に、本セミナーが皆様にとって実りある時間となることを願い、また、次年度の皆様のご活躍を心より期待して、挨拶とさせていただきます。



2025～26年度 会長エレクト研修セミナーにあたり

2025-2026年度
地区ラーニングファシリテーター

大久保 博之（水戸RC）

本日地区内各クラブのリーダーが集う、瀬戸ガバナー年度の会長エレクト研修セミナーが盛大に開催されますこと心よりお祝い申し上げます。

私がガバナーを務めさせていただきました一昨年度ですが公式訪問で、あるクラブから「うちのクラブでなかなか奉仕が見つからないんですけど何をやったら良いのでしょうか？」という質問がありました。私は問いました。「このまちには例えば、高齢化、少子化、貧困児童対策、人口減少、町の経済の活性化、青少年育成、文化の振興、郷土芸能の保存、環境問題、ごみ問題、外国人労働者問題、海外との交流、などなど課題は無いのですか？」

ロータリーは奉仕を通して課題解決をする団体です。

ロータリーには多業種で様々な会員がいます。人的資源と言っても良いかもしれません。もちろんロータリーがすべての課題解決に関わることなどできませんが、ロータリーが取り組みやすいことから、会員の特性を活かして議論し解決に向けてやるべきことは山ほどあります。

もし予算がないというのなら、スポンサーを集め、青少年を巻き込んで汗をかき、頭を使ってイベントに仕立てることもできるでしょう。地区を大いに頼ってください。地区補助金を活用することもできます。地区はクラブの応援団。主役は各クラブ、地区はサポーターとして協力してくれるでしょう。

そしてポール・ハリスのことばにあるように「ロータリーは知人の集まりではなく、友人の集まりである」に近づくためにも、看板事業、よき奉仕が、友人を増やし楽しいクラブライフを実現してくれるでしょう。

瀬戸ガバナーはアイデアも豊かに世界に貢献できる地区になることを企画しておられます。ポリオ、世界平和、米山も含めて、地域で奉仕をしながら世界に貢献することもできます。

本日ここに多くのアイデアを寄せ合い各地域のリーダーが新しい年度の希望の船出をされることを心より祈念します。



会長エレクト研修セミナーに寄せて

2024-25年度
国際ロータリー第2820地区

ガバナーエレクト **瀬戸 隆海**(水海道RC)

本日より二日間という貴重な時間を、ロータリークラブ会長エレクト研修にかけていただき、誠にありがとうございます。恐れ多くも私は、2025-26年度に地区ロータリークラブの先導者として、各クラブ会長エレクトの皆様方と共にロータリーを盛り上げていきたいと思っております。今回の研修セミナーにおいては、大高ガバナー、大久保ラーニングファシリテーター、パストガバナーの皆様方の御指導を賜りながら、準備を進めてまいりました。

私は2月9日から五日間にわたり、米国オーランドの地において開催された国際協議会に参加してきました。国際協議会はガバナー就任に向けた最後の仕上げとなるラーニングの場であります。そこで、同期のガバナーとなる世界各地のロータリアンと意見を交わし情報共有をしてきました。

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトは10日の開会本会議の席で2025-26年度のRI会長メッセージを「よいことのために手を取りあおう」と発表されました。以前からの情報で、テーマは廃止する、代わってメッセージを出すと伺っておりました。今回のメッセージの発表があった時、テーマとメッセージはどう違うのかという疑問ができました。伺ってみると、テーマはその年度の会長が決めるものであり、メッセージは戦略委員会と公共イメージとエレクトが協議し決めるものだそうです。つまり、内容の重さはメッセージが重いのであります。つまり、ロータリーが長期的戦略に向かって方向を示唆し、継続的なアドバイスを我々に示していると理解します。何はともあれ、私ははととも明快であり、ロータリーとしての奉仕の理念を強調していると感じました。メッセージが発表された瞬間、大きな歓声で会場が沸き立ちました。直訳すると、「善のために団結」ではないでしょうか。我々地区内ロータリーが一致団結し、奉仕を推し進めていくのがこの年度の行動指針であると確信いたします。

さらにマリオ RI 会長エレクトは、ロータリーの最大の財産は会員であり、個々の会員が協力することで世界を変える力があると述べられました。また、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げ、変化する世界に適応し続ける事の重要性を強調しています。このメッセージは、ロータリー会員が団結し、共に善いことを行うことで、地域社会や世界全体にポジティブな変化をもたらすことを示唆しております。

ロータリーを変えるためには、ロータリアンが変わらなくてはなりません。ロータリーブランドを持って理想と責務を外さない限り、自由なロータリー、快活なロータリー、そして楽しいロータリーを推し進めてまいりましょう。



何よりも、今回の会長エレクト研修において得たことの実を結んでいただき、それぞれのクラブが躍進していただけることを祈念し、御礼のご挨拶に代えさせていただきます。

2025-26 年度国際ロータリー

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう
(UNITE FOR GOOD)



2025-26年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

ロータリー行動計画

私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って、行動する世界を目指しています。

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画です。」

この四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人々を結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」

- ・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する。
- ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる。
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める。

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する。
- ・参加者がロータリーを体験する新しい方法を作り出す。
- ・クラブの柔軟性とアピール力を高める。
- ・インパクトとブランドに対する理解を築く。

優先事項3 「参加者の積極的なかわりを促す」

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する。
- ・個々の参加者をよりよく理解し、サポートする。
- ・個人的/職業的なつながりを築く新たな機会を提供する。
- ・リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する。

優先事項4 「適応力を高める」

- ・研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く。
- ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する。
- ・意思決定におけるより多様な考え方を育む。



地区行動指針

時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命 (椎尾弁匡 御作)

【解説】

今、何が大切かと考えたとき、結果としてこの一瞬をできる限り努力をする事に尽きるのではないのでしょうか。人は、ついつい先を見て焦ってしまいます。先走ってやらなくてもいいことをして失敗してしまいがちです。でも足もとを確実に固め、ゆっくりといいですから「生ききる」ことです。その打ち込む姿勢が「永遠の命」に帰結していきます。

【地区数値目標】

①会員数(ロータリアン・ローターアクト) →『ロータリーの財産』

・地区目標 2,000名

ロータリークラブ(含む衛星クラブ会員) 純増 クラブ会員数×8%

ローターアクト 純増 1名

・特化型の衛星クラブ創立の促進

②ロータリー財団寄付

・年次基金寄付 150ドル/人

・ポリオプラス基金 30ドル/人

・恒久基金(ベネファクター) 各クラブ1名以上

・ポリオ・プラス・ソサエティ(PPS) 現PPS会員+クラブ1名以上

・ポールハリスソサエティ(PHS) 地区100名以上維持

③米山記念奨学会寄付

・会員一人当たり25,000円(普通寄付5,000円：特別寄付20,000円)

④My ROTARYの登録推進と活用促進

・会員登録 全会員の85%以上

ロータリーの情報源でもあり各自のロータリアンとしての資質向上



【地区行動指針】

①ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶はロータリーとしての最優先事項です。ポリオ根絶まであと少しと言いながら、昨年はパキスタンで感染者が多発いたしました。また、ガザ地区でもワクチン由来の患者が流行しました。WHOはワクチン投与を強く訴え、ガザ地区においてポリオワクチン投与のために一時停戦にするほど、世界はポリオ根絶に対して重きを置いています。

地区ではポリオ根絶キャンペーンを世界ポリオデーに合わせ、実行委員会を立ち上げ、地区全体事業としてイベントを実行いたします。

→財団委員会を中心に、地区内各奉仕委員会・米山奨学生を対象、全クラブ。

②ウクライナ支援事業のためにICC(国際共同委員会)に設立に参画

当地区はウクライナ紛争が勃発した時から、早急に支援活動を行ってきました。そして、日本国内の多くの地区においても支援を行っています。しかしながら夫々の地区で支援を行うには限度があります。ウクライナは一国で1地区であります。支援を受ける地区と支援する側の地区と協定を交わしICCを立ち上げ、効果的な支援をするよう推し進めていきます。日本国内ではICCを立ち上げたことはありません。日本は戦後80周年という年に、ウクライナ復興のためのICCを立ち上げることは、とても重要な事ではないでしょうか。平和構築のためにご協力をお願いいたします。

さらに、ウクライナ復興のための義援金をお願いいたします。

→国際奉仕委員会

③Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(インクルージョン)の促進

多様性： 全てにおいて門戸を開放する

公平性： 誰もが公平で大切にされる

インクルージョン： 多様性を受け入れ、互いに認め合い、みんなが活躍できる

『四つのテスト』の実施

→クラブ奉仕委員会

④公共イメージの向上

会員増強の最大の手段として、ロータリーのイメージ向上があるのではないのでしょうか。

イメージアップの手段としては、様々な媒体はありますが、ロータリーそのものを我々が楽しまなければ、外部の人には伝わらないと思います。

国際協議会において「ロータリー・ブランド」というテーマで話し合われました。いろいろな意見が出されましたが、今一度クラブで、委員会で意見交換していただくことで、公共イメージアップの手段が見えてくると思います。



⑤会員維持率の向上と増強

マリオRI会長は、ロータリーの財産はクラブであり会員であると言っております。しかしながら現時点においては、会員減少は否めないものであります。老朽化したクラブは衰退の岐路に立たされるのであります。唯一復活する手立ては、新しい会員、そして若い世代の会員を増やすのみであります。クラブの次の世代への移行を推し進めるリーダーが必要であります。老朽化したクラブが、それを受け入れないならば新しいクラブを作るべきです。

近年のクラブの形態としては、サテライトクラブ、原因に基づくクラブ、企業クラブ、パスポートクラブ等があります。所謂、特化したクラブであります。特化した衛生クラブも有りでしょう。是非とも、新しい仲間を増やしましょう。

⑥ローターアクトクラブの活性化

将来ロータリアンになるようなローターアクターへの投資であると踏まえ、我々はローターアクトと共に学び、ともに活動することが大切であります。そのためには、多くのメンバーを発掘していくのもロータリークラブとして支援していかなくてはなりません。

⑦青少年育成事業の推進

未来を担うリーダーの育成に努めましょう。インターアクト、RYLA、青少年交換への支援及び協力を強化しましょう。

⑧RLIへの積極的参加

RLIはロータリーにおける最大の指導力育成プログラムです。一人でもロータリーの活動に理解を深め、活力あるクラブ創生に力を出せるよう参加推進をお願いいたします。

⑨メイクアップの奨励

クラブ例会出席は会員としての義務であります。メイクアップは諸事情により出席が叶わないための手段ですが、時には他クラブの情報、会員との交流、そして気付きがあります。自クラブだけでなく、積極的に他クラブに出向いてみましょう。

⑩My ROTARYの活用推進及び『ロータリーの友』の積極的な購読

ロータリーの情報がすべて網羅されております。是非とも、ロータリーの情報源の活用をお願いいたします。

⑪クラブ優秀賞への挑戦

クラブ優秀賞を取ることが目的ではなく、自分たちが目標に向かってどれだけ躍進したかという評価です。それぞれのクラブ活性のために、トライしましょう。

→ガバナー補佐



⑫国際大会への参加

今年度の国際大会は、2026年6月13日～17日に台北(台湾)で行われます。多くの登録をお願いいたします。

⑬ロータリー希望の風奨学金支援の継続

東日本大震災により災害孤児になった青少年への教育支援をいたします。
一人1,000円の支援を任意でお願いいたします。



国際委員会は、2つ以上の国際地区または2つ以上の国の間の関係を促進し、さまざまな国の人々の間で親睦を深め、異文化理解を深め、異なる国のメンバー、クラブ、地区間の絆を強め、国境、大陸、海を越えたネットワークを確立します。

第一次世界大戦と第二次世界大戦後にヨーロッパを統一するために最初の国際委員会（ICC）が結成され、国境を越えた多地区活動の基礎が築かれました。

1950年にフランスとドイツの間で委員会の憲章が発効して以来、ヨーロッパおよび世界中でICCのネットワークが発展してきました。

すぐに、国際ロータリーセンターの2か国のロータリアン、クラブ、地区は、共通の活動に協力することによってのみ、コミュニケーションと相互理解の向上を通じて平和をさらに促進できることに気づきました。

国境を越えたクラブの姉妹提携を皮切りに、寛容と理解の精神のもと、ロータリアン間の国際的な交流が拡大しました。

現在、ロータリー世界全体で推定400のICC関係があり、異文化理解の拡大、国境を越えた友情の構築、国際奉仕を通じて地域社会を強化するパートナーシップの育成に役立っています。

ICC加盟各国の地方支部は、人道的プロジェクトの定義と実施、およびその長期的な持続可能性の確認に協力しています。



国際共同委員会 (ICC) の参加に向けて

2820地区では、新井ガバナー年度よりウクライナ支援活動を行っています。当地区以外でもウクライナ支援を行っていますが、それぞれ地区がばらばらに行っている支援活動の窓口を一つにして日本国内の地区が一丸となって支援した方が、よりよい支援につながるのではないかと提案がありました。

そのために国際共同委員会 (ICC) を締結して、国際ロータリーから認められた方がより効果的との結論に至りました。

国際共同委員会 (ICC) とは

国際共同委員会 (ICC) は、異文化間の理解を促進します。ICCは、2カ国以上の国にあるロータリークラブや地区が平和の推進、親睦の促進、関係強化のために協力するネットワークです。

締結に当たっては、今回ウクライナの復興支援として平和の推進に特化した事業推進ということで、相手地区 (ウクライナ) と日本国内ロータリークラブの各地区と条約を結びます。このICCは相手 (国) 地区と日本の地区の二地区があれば成立いたします。

- ①日本区内のロータリーは、ICCを締結することについては初めての事でありロータリー日本事務局でも経験はなく、全面的に協力をいただいております。しかしながらICCは最近できたものではなく、古くは第一次世界大戦の時に国を跨ぐロータリーがICCを締結し支援活動を行ったという歴史があります。現在117国の地区同士が、ICCを活用し平和推進、交流を進めております。
- ②ICCは、財団とは別組織であります。ですから、財団の縛りはありません。そして、財団とMOUを締結すれば財団の資金を使うことは可能です。
- ③締結に当たっては、地区内クラブの3分の2以上の賛同を得なければなりません。
- ④事務局については、2520地区多賀城に設立される衛生クラブが担当することに予定されています。このクラブは、ウクライナ人が数名在籍し、更には語学やインターネット等に特化したクラブメンバーが在籍いたします。
- ⑤このICC条約を締結したからと言って、締結した地区は毎年支援をしなければいけないという強制力はありません。ですから、支援についてはその年の地区の方針で決定することが可能です。
- ⑥支援内容は締結相手地区ウクライナ地区と協議し決めていきます。



当地区としての取り組みスケジュール

三大セミナーにて、地区方針として説明。

7月のガバナー会の折に、賛同地区とウクライナ地区との懇談会

第1回会長幹事会、又は地区大会にて決議を行う。

現在関心表明地区

2 5 1 0 地区	2 5 2 0 地区	2 5 3 0 地区	2 5 6 0 地区	2 5 7 0 地区
2 5 9 0 地区	2 6 1 0 地区	2 7 1 0 地区	2 7 7 0 地区	2 8 2 0 地区



実行委員長のご挨拶

国際ロータリー第2820地区
会長エレクト研修セミナー実行委員長
古矢 満(水海道RC)

瀬戸ガバナー年度を迎えるにあたり、2820 地区内 55 クラブの会長エレクトの皆様をお迎えし、会長エレクト研修セミナーを開催できます事、心より感謝いたします。

そして、力強いご助言とご指導を賜ります、地区ラーニングファシリテーターの、大久保博之様を始めいたしますパストガバナーの皆様、お忙しい中ご講演をいただきます菅原裕典様、2820 地区の役員の皆様には、ご出席をいただきましてあわせて御礼申し上げます。瀬戸ガバナーエレクトの、ロータリーブランドをもって理想と責務を外さず、自由で、快活、そして楽しいロータリーでという気概のもと、国際協議会にて研修したこと、そして地区の運営方針など、二日間の研修セミナーを通じて、皆様としっかり共有し、学びを深め、2025-2026 年度が素晴らしい年度となりますよう、ご祈念申し上げまして、実行委員長のご挨拶とさせていただきます。



歓迎のごあいさつ

国際ロータリー第2820地区
ホストクラブ会長
五木田 裕一(水海道RC)

地区内全 55 クラブの会長エレクトの皆様、つくばの地によろこそいらっしゃいました。ホストクラブ会員一同歓迎申し上げます。本年 7 月 1 日から瀬戸ガバナー年度を開始するにあたり、本日から 2 日間にわたり会長エレクト研修セミナーが開催されます。

また大高司郎ガバナー、地区ラーニングファシリテーター大久保博之様をはじめとするパストガバナーの皆様のご出席を賜り、本セミナーが開催されますことに深く御礼申し上げます。併せて本セミナーの開催にあたり関係する会員の皆様の努力に対しまして、心から感謝申し上げます。

水海道ロータリークラブは創立 62 年目を迎えます。約四半世紀前になりますが、2001-2002 年度に北村パストガバナーを輩出して以来、2 度目のガバナー輩出となります。

今回のセミナー開催につきましては、第 7 分区全クラブから全面的なご協力並びにご支援を賜りながら準備を進めてまいりました。

ホストクラブとしまして、過去の経験も活かしながら環境の変化も踏まえつつ瀬戸隆海ガバナーを支え、その責務を全うする所存です。

何分不慣れたため行き届きの点等多々あるかと存じますが、ロータリーの友情に免じてお許しいただきますようお願いいたします。

2 日間の本セミナーが皆様にとって実り多きものとなりますようご祈念申し上げ、ホストクラブ会長挨拶とさせていただきます。



講師紹介



国際ロータリー第1地域 行動計画推進リーダー (APC)
2019・22年度 第1地域ロータリーコーディネーター
2021・22年 国際協議会ラーニングファシリテーター
国際ロータリー第2520地区パストガバナー

菅原 裕典 (仙台泉RC)

勤務先 株式会社 **清月記** 代表取締役

仙台市宮城野区日の出町2-5-4
TEL 022-782-5777 FAX 022-782-5778
E-mail: h.sugawara@seigetsuki.co.jp

■職業分類	式場
■所属クラブ	国際ロータリー第2520地区 仙台泉ロータリークラブ
■職歴	<p>1985年 3月 株式会社清月記 設立</p> <p>2011年 5月 認定特定非営利活動法人JETOみやぎ 理事長 就任</p> <p>2001年 4月 社会福祉法人 無量壽会 理事長 就任</p> <p>2019年 5月 (公社)仙台北法人会 会長 就任</p> <p>2020年 4月 宮城県葬祭業協同組合 理事長 就任</p> <p>2020年 9月 (一社)宮城県法人連合会・東北六県法人会連合会 会長 就任</p> <p>(公財)全国法人会総連合 副会長 就任</p> <p>2021年 4月 社会福祉法人仙台いのちの電話 理事・後援会会長 就任</p>
■ロータリー歴	<p>2009年 1月 仙台泉ロータリークラブ入会</p> <p>2009年-2010年 会員増強委員会委員長</p> <p>2010年-2011年 理事・会計</p> <p>2011年-2012年 理事・姉妹クラブ委員長</p> <p>2012年-2013年 仙台泉ロータリークラブ 会長 メキシコ合衆国第4150地区メキシコGSEチーム セイビノミヤさん受入</p> <p>2013年-2014年 第2520地区クラブ奉仕委員会リーダー</p> <p>2014年-2015年 第2520地区ガバナーエレクト 第2520地区 On to サンパウロ委員会 委員長</p> <p>2015年-2016年 第2520地区 ガバナー</p> <p>2016年-2018年 国際ロータリー第1ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 第2520地区 On to アトランタ委員会 委員</p> <p>2019年 5月 国際ロータリー第3640地区(ソウル)地区大会 RI会長代理</p> <p>2019年-2022年 国際ロータリー第1地域 ロータリーコーディネーター</p> <p>2021年 2月 国際ロータリーラーニングファシリテーター</p> <p>2021年 7月 RLI日本支部地区代表ファシリテーター 就任</p> <p>2021年 6月 国際ロータリー第2800地区(山形)地区大会 RI会長代理</p> <p>2022年 2月 国際ロータリーラーニングファシリテーター</p> <p>2022年 5月 国際ロータリー第2710地区(広島・山口)地区大会 RI会長代理</p> <p>2022年11月 国際ロータリー第2530地区(福島)地区大会 RI会長代理</p> <p>2024年 2月 国際ロータリー第2580地区(東京・沖縄)地区大会 RI会長代理</p>
【米山記念奨学会】	第6 回米山功労者
【ロータリー財団】	<p>メジャードナー(レベル3)</p> <p>マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(+7)</p> <p>ベネファクター</p> <p>ポール・ハリス・ソサエティ</p> <p>Hironori and Nami Rotary Peace Center Fund (菅原裕典・菜美ロータリー平和センター基金)</p> <p>Hironori and Nami Sugawara Fund for Environment (環境のための菅原裕典・菜美基金)</p>



2025-2026 年度 国際ロータリー第 2820 地区

「会長エレクト研修セミナー」 プログラム PETS

2025年3月29日(土)

会場:ホテル 日航つくば

10:00~10:30	登 録		山 崎 哲 男	水 海 道
10:30~10:50	開 会	司 会	瀬 戸 隆 海	水 海 道
	点 鐘	ガバナーエレクト	古 矢 満	水 海 道
	開会のことば	実行委員長		
	国歌及びロータリーソング「奉仕の理想」斉唱			
	歓迎のことば	ホストクラブ会長	五木田 裕 一	水 海 道
	地区役員紹介	ガバナーエレクト	瀬 戸 隆 海	水 海 道
	ガバナー挨拶	ガバナー	大 高 司 郎	高 萩
10:50~11:20	RI会長メッセージと地区運営方針	ガバナーエレクト	瀬 戸 隆 海	水 海 道
11:20~11:40	クラブ会長の責務と役割	地区ラーニング委員	高 橋 賢 吾	水 戸 西
11:40~12:00	危機管理について	危機管理委員長	大 野 治 夫	つくば学園
12:00~12:05	諸事お知らせ		山 崎 哲 男	水 海 道
12:05~13:00	昼 食			
13:00~13:20	クラブ優秀賞について&3-Year Targets	ガバナー	大 高 司 郎	高 萩
13:20~13:40	戦略計画について	戦略委員会委員長	高 橋 賢 吾	水 戸 西
13:40~13:50	講演準備・休憩			
13:50~14:50	講演会	ロータリーの現状	菅 原 裕 典	仙 台 泉
14:50~15:00	質疑応答			
15:00~15:50	グループディスカッション			
15:50~16:40	ガバナー補佐の方針&ディスカッション報告	第1分区ガバナー補佐	小 森 勇 一	高 萩
		第2分区ガバナー補佐	野 内 厚 志	大 子
		第3分区ガバナー補佐	金 澤 卓 也	水 戸 西
		第4分区ガバナー補佐	塚 田 晴 夫	古 河
		第5分区ガバナー補佐	野 寺 孝	筑 西 きぬ
		第6分区ガバナー補佐	大 堀 健 二	つくば学園
		第7分区ガバナー補佐	中 村 康 博	牛 久
		第8分区ガバナー補佐	内 野 芳 男	鹿 島 中央
16:40~16:50	質疑応答	地区ラーニングファシリテーター	大久保 博 之	水 戸
16:50~17:00	閉会の言葉	副実行委員長	鈴 木 勝 久	水 海 道
	点 鐘	ガバナーエレクト	瀬 戸 隆 海	水 海 道
	諸事お知らせ・会場移動	司会	山 崎 哲 男	水 海 道
17:30~19:30	懇親会	司会	齋 藤 政 博	水 海 道
	挨拶	ガバナーエレクト	瀬 戸 隆 海	水 海 道
	乾 杯	諮問委員	北 村 仁	水 海 道
	お開き手に手つないで			

2025年3月30日(日)

会場:ホテル 日航つくば

9:00~9:10	開 会	司会	鈴 木 勝 久	水 海 道
	開会の言葉	実行委員長	古 矢 満	水 海 道
	点 鐘	ガバナーエレクト	瀬 戸 隆 海	水 海 道
9:10~9:20	ガバナー挨拶	ガバナー	大 高 司 郎	高 萩
9:20~9:40	セッション1	クラブ奉仕総括委員長	井 上 誠	下 妻
	クラブ奉仕について	クラブ奉仕総括委員長	井 上 誠	下 妻
9:40~10:20	セッション2	奉仕プロジェクト担当カウンセラー	高 橋 賢 吾	水 戸 西
	職業奉仕について	職業奉仕総括委員長	安 圭 一	水 戸
	社会奉仕について	社会奉仕総括委員長	黒 木 雅 宏	水 戸 西
	国際奉仕について	国際奉仕総括委員長	村 上 義 孝	つくば学園
10:20~10:40	セッション3	青少年奉仕担当カウンセラー	池 田 正 純	牛 久
	青少年奉仕について	青少年奉仕総括委員長	宇留野 秀 一	水 戸 西
10:40~11:00	セッション4	ローターアクト担当カウンセラー	中 村 澄 夫	東 海 那 珂
	ローターアクトについて	ローターアクト総括委員長	塚 越 俊 祐	つくば学園
11:00~11:25	セッション5	ロータリー財団担当カウンセラー	大 野 治 夫	つくば学園
	ロータリー財団について	資金管理・推進委員長	秋 葉 良 孝	水 戸
		補助金委員長	菊 池 泰 正	土 浦
11:25~11:45	セッション6	米山記念奨学会担当カウンセラー	大 高 司 郎	高 萩
	米山記念奨学会について	米山記念奨学会総括委員長代理	草 野 朋 子	常 陸 太 田
11:45~	閉会のことば	実行副委員長	淀 名 和 茂 彦	水 海 道
	点 鐘	ガバナーエレクト	瀬 戸 隆 海	水 海 道



出席者名簿

(敬称略)

	役 職	氏 名	所属クラブ
地区諮問委員	ガバナー(2024-2025年度)・米山記念奨学会担当カウンセラー	大 高 司 郎	高 萩
	地区ラーニングFT・クラブ奉仕担当カウンセラー	大 久 保 博 之	水 戸
	パストガバナー	塙 東 男	笠 間
	パストガバナー	吉 岡 昭 文	つ く ば 学 園
	パストガバナー	北 村 仁	水 海 道
	パストガバナー	片 岡 信 彦	土 浦 南
	パストガバナー	永 井 靖 彦	水 戸 東
	パストガバナー	萩 原 亢 雄	し も だ て 紫 水
	パストガバナー	佐 藤 衛	水 戸 南
	パストガバナー	井 上 壽 博	水 戸
	パストガバナー	廣 瀬 昭 雄	土 浦
	パストガバナー	山 崎 清 司	古 河 東
	パストガバナー	野 堀 喜 作	つ く ば 学 園
	パストガバナー	長 谷 川 國 雄	水 戸 南
	パストガバナー	白 戸 仲 久	古 河 中 央
	パストガバナー	保 延 輝 文	石 岡
	パストガバナー・奉仕プロジェクト担当カウンセラー	高 橋 賢 吾	水 戸 西
	パストガバナー・ローターアクト担当カウンセラー	中 村 澄 夫	東 海 那 珂
	パストガバナー	池 田 正 純	牛 久
	パストガバナー	新 井 和 雄	下 館
	パストガバナー・ロータリー財団担当カウンセラー・財団総括委員長	大 野 治 夫	つ く ば 学 園
ガバナー補佐	第1分区ガバナー補佐	小 森 勇 一	高 萩
	第2分区ガバナー補佐	野 内 厚 志	大 子
	第3分区ガバナー補佐	金 澤 卓 也	水 戸 西
	第4分区ガバナー補佐	塚 田 晴 夫	古 河
	第5分区ガバナー補佐	野 寺 孝	筑 西 き ぬ
	第6分区ガバナー補佐	大 堀 健 二	つ く ば 学 園
	第7分区ガバナー補佐	中 村 康 博	牛 久
	第8分区ガバナー補佐	内 野 芳 男	鹿 島 中 央
地区役員	ガバナーエレクト(2024-2025年度)	瀬 戸 隆 海	水 海 道
	ガバナーノミニ(2024-2025年度)	藤 木 章 吉	し も だ て 紫 水
	ガバナーノミニ・デジグネート(2024-2025年度)		
	地区幹事	青 木 正 弘	水 海 道
	地区幹事	鷺 谷 一 彦	し も だ て 紫 水
	地区幹事	大 河 原 浩	高 萩
	地区会計長	倉 持 功 典	水 海 道
	地区資金委員	小 倉 重 則	し も だ て 紫 水
	地区資金委員	石 君 平	高 萩
	ロータリーの友地区代表委員	北 村 英 明	水 海 道
	ロータリーの友委員	糸 川 秀 樹	し も だ て 紫 水
	財団監査委員	増 山 英 和	水 戸
	財団監査委員	小 野 智 久	日 立
	RLI委員長	桑 原 智 恵 子	水 戸 西
	地区戦略計画委員	柿 沼 利 明	古 河 東
	地区戦略計画委員	長 野 久 嗣	水 戸
	地区立法案検討委員会委員	土 田 次 郎	古 河 中 央
	地区立法案検討委員会委員	片 岡 宗 厳	水 戸
	地区立法案検討委員会委員	謝 佳	茨 城 ロ ー タ リ ー E



(敬称略)

	役 職	氏 名	所属クラブ
総括委員長	クラブ奉仕総括委員長	井 上 誠	下 妻
	職業奉仕総括委員長	安 圭 一	水 戸
	社会奉仕総括委員長	黒 木 雅 宏	水 戸 西
	国際奉仕総括委員長	村 上 義 孝	つ く ば 学 園
	青少年奉仕総括委員長	宇 留 野 秀 一	水 戸 南
	ローターアクト総括委員長	塚 越 俊 祐	つ く ば 学 園
	ロータリー財団総括委員長	大 野 治 夫	つ く ば 学 園
	米山記念奨学会総括委員長	神 山 芳 子	下 館
委員 地区	ロータリー財団 資金管理・推進委員長	秋 葉 良 孝	水 戸
	パストガバナー	菊 池 泰 正	土 浦
クラブ ホスト	実行委員長	古 矢 満	水 海 道
	ホストクラブ会長	五 木 田 裕 一	水 海 道
	ホストクラブ会長幹事	大 澤 清	水 海 道



ロータリー特別月間

月	テ ー マ
7月	母子の健康月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間
9月	基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間
10月	地域社会の経済発展月間／米山月間
11月	ロータリー財団月間
12月	疾病予防と治療月間
1月	職業奉仕月間
2月	平和構築と紛争予防月間
3月	水と衛生月間
4月	環境月間
5月	青少年奉仕月間
6月	ロータリー親睦活動月間

ロータリー特別週間

月	テ ー マ
10月	ロータリー学友参加推進週間(7日を含む月曜からの1週間)
11月	世界インターアクト週間(5日を含む月曜からの1週間)
2月	ロータリー創立記念日(23日)／世界理解と平和の日(23日)
3月	世界ローターアクト週間(13日を含む月曜からの1週間)

2025-2026年度 IM日程一覧表

分区	開催年月日	ホストクラブ	ガバナー補佐
1	2026年1月25日(日)	高 萩 R C	小 森 勇 一
2	2026年2月 1日(日)	大 子 R C	野 内 厚 志
3	2026年2月14日(土)	水 戸 西 R C	金 澤 卓 也
4	2026年2月 8日(日)	古 河 R C	塚 田 晴 夫
5	2026年2月22日(日)	筑 西 きぬ R C	野 寺 孝
6	2026年1月31日(土)	つくば学園RC	大 堀 健 二
7	2026年2月21日(土)	牛 久 R C	中 村 康 博
8	2026年2月15日(日)	鹿島中央RC	内 野 芳 男



国際ロータリー第2820地区
2025-2026年度 公式訪問日程表
年間スケジュール

日	曜	7月	曜	8月	曜	9月	曜	10月	曜	11月	曜	12月
1	火		金	勝田	月	岩井	水	古河中央	土		月	
2	水		土		火	日立南	木	水戸東	日		火	
3	木		日		水	結城	金		月		水	
4	金		月	水戸さくら	木	つくば学園	土		火	ひたちなか	木	
5	土		火		金	鹿島臨海	日		水	東海那珂	金	
6	日		水	下館	土		月		木	阿見	土	
7	月		木	土浦	日		火	水戸	金		日	
8	火		金		月		水	水戸西	土		月	
9	水	高萩	土		火	鉾田	木	波崎	日		火	
10	木	笠間	日		水	日立北	金		月		水	
11	金		月		木	水戸好文	土		火		木	
12	土		火		金	玉造	日		水	つくばシティ	金	
13	日		水		土		月		木		土	
14	月		木		日		火	古河東	金		日	
15	火		金		月		水	石岡	土		月	
16	水		土		火	しもだて紫水	木	大洗	日		火	
17	木		日		水	日立中央	金		月		水	
18	金	守谷	月		木	取手	土		火		木	
19	土		火		金	古河	日		水		金	
20	日		水		土		月		木		土	
21	月		木		日		火	真壁	金		日	
22	火	日立	金		月		水		土		月	
23	水	つくばサンライズ	土		火		木	石岡87	日		火	
24	木	下妻	日		水	常陸太田	金		月		水	
25	金	水戸南	月	牛久	木	鹿島中央	土	茨城RE	火		木	
26	土		火	友部	金		日		水	水海道	金	
27	日		水	大子	土		月		木		土	
28	月	那珂湊	木	境	日		火	北茨城	金		日	
29	火	土浦南	金	龍ヶ崎中央	月		水	土浦中央	土		月	
30	水		土		火	竜ヶ崎	木	日立港	日		火	
31	木	筑西きぬ	日	ローターアクト合同			金				水	



2025-2026年度 国際ロータリー 第2820地区

瀬戸年度地区組織図





2025-2026年度 国際ロータリー 第2820地区

瀬戸年度地区組織図

○委員長

クラブ奉仕担当カウンセラー	奉仕P担当カウンセラー	青少年奉仕担当カウンセラー	ローターアクト担当カウンセラー	ロータリー財団担当カウンセラー	米山奨学会担当カウンセラー
大久保博之 (水戸)	高橋 賢吾 (水戸西)	池田 正純 (牛久)	中村 澄夫 (東海那珂)	大野 治夫 (つくば学園)	大高 司郎 (高萩)
クラブ奉仕 総括委員長 井上 誠 (下妻)	職業奉仕 総括委員長 安 圭一 (水戸)	青少年奉仕 総括委員長 宇留野秀一 (水戸南)	ローターアクト 総括委員長 塚越 俊祐 (つくば学園)	ロータリー財団 総括委員長 大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会 総括委員長 神山 芳子 (下館)
会員増強 ○熊木 善一 (古河)	中村 潤 (古河中央)	インターアクト ○柴沼 博之 (土浦南)	有金 重幸 (日立中央)	ポリオプラス ○関 康彦 (水戸)	米山寄付増進 ○草野 朋子 (常陸太田)
片岡 宗厳 (水戸)	征矢 亘 (日立)	石井 秀明 (東海那珂)	横須賀 靖 (水戸)	倉持 悦子 (しもだて紫水)	江田 治雄 (下妻)
新井 誠 (しもだて紫水)	片桐 武美 (守谷)	塙 主税 (水戸西)	楠 英夫 (土浦南)	木村 英博 (つくば学園)	斉藤百合子 (古河)
篠原 純一 (境)	荒野 吉生 (鉾田)	山西 裕 (水戸)	皆葉 真治 (つくば学園)	鐵屋 竜朗 (つくばシティ)	米山学友 ○岩田 光造 (水戸東)
衛星クラブ担当 杉山 吉彦 (下館さくら衛星)	社会奉仕 総括委員長 黒木 雅宏 (水戸西)	野口 均 (しもだて紫水)	飯田 大樹 (古河中央)	資金管理・推進 秋葉 良孝 (水戸)	張 朔源 (茨城RE)
リユー クイン ガー (下妻さぬま湖畔衛星)	研究会担当 小野 智久 (日立)	菅原 光雄 (日立港)	杉山 吉彦 (下館さくら衛星)	八木 健二 (日立)	高野 和彦 (土浦南)
山田 広美 (下妻さぬま湖畔衛星)	地区補助金担当 根本 ひろ美 (水戸東)	青少年並びにライラ ○渡部 俊介 (石岡87)	水村 成也 (土浦南 RAC)	瀬戸口 進 (つくば学園)	米山選考 ○佐谷 道造 (古河東)
クラブサポート ○鈴木 敏雄 (古河)	川島 紀文 (牛久)	鈴木 淑登 (高萩)		補助金担当 ○菊池 泰正 (土浦)	藤澤 昭彦 (土浦)
和泉 好一 (土浦南)	奉仕事業担当 關本 淳一 (土浦)	広瀬 貴之 (つくば学園)		地区補助金担当 ○椿 真里 (北茨城)	中山 眞矢 (水戸西)
緒方 惟文 (水戸東)	国際奉仕 総括委員長 村上 義孝 (つくば学園)	石塚 徹 (水海道)		申請 清藤 豊 (水戸東)	前田 成子 (玉造)
公共イメージ・ICT推進 ○林 正太郎 (水戸)	WCS・グローバル補助金担当 松本 幸子 (古河東)	青少年交換 ○軽部 守彦 (下妻)		申請補 池田 一郎 (つくば学園)	
滝 徳宗 (高萩)	国際交流奨学金担当 松本 幸子 (古河東)	飯泉 智弥 (つくば学園)		グローバル補助金担当 ○尊田 京子 (つくばサンライズ)	
松野 祐介 (水戸さくら)	国際交流共同担当 柴山 博光 (友部)	中庭 浩実 (水戸南)		人道支援 中野 勝 (つくば学園)	
山崎 哲男 (水海道)	フィリピン担当 柴山 博光 (友部)	藤木 章吉 (しもだて紫水)		奨学金・学友 田上 悟史 (水戸西)	
富岡 致知 (下妻)	タイ担当 録田 幸裕 (水戸南)			VTT担当 岡村 太郎 (水戸南)	
	ネパール担当 中島 賢一 (土浦)			ロータリー平和フェロシップ ○木村 英博 (つくば学園)	
				ロータリーカード推進 ○白岩 大樹 (牛久)	

[illegible]



会長エレクト研修セミナー出席報告

御 芳 名

所属クラブ

RC

職 業 分 類

会長エレクト研修セミナーにご出席くださいますてありがとうございました

2025 年 3 月 29 日 (土) ・ 30 日 (日)

於：ホテル日航つくば

国際ロータリー第2820地区

地区幹事 **青木 正弘**



国際ロータリー第2820地区 ガバナー事務所

〒303-0023

茨城県常総市水海道宝町 3386 釜久ビル 3F

TEL : 0297-21-3655

Fax : 0297-21-3654

E-mail 25-26@rid2820.jp